

平成22年2月26日

資源エネルギー庁

長官 石田 徹 様

柏崎刈羽原子力発電所の透明性を
確保する地域の会
会 長 新 野 良 子

エネルギー基本計画について

日頃から国民の安心・安全を守るためご尽力いただいていることに敬意を表します。

「柏崎刈羽原子力発電所の透明性を確保する地域の会」は、設立から今春で8年目を迎えます。

多様な考えや立場の住民である委員24名で構成され、月1回の定例会を自主企画・運営し、今月80回目の定例会を終えたところです。

この7年間、あまりにも多くの事象やトラブル、そして水害や雪害、2度の大地震に見舞われ、様々な体験を通し、国や地方自治体、企業などのオブザーバー同席の下、コミュニケーションを積み重ねております。

その経験を踏まえ、立地地域住民である委員の総意をコメントさせていただきます。

総論的な内容ですが参考にしていただければ幸いです。

- ・ 新しい政策や方針に向かうとき、これから何を目指すのか、なぜこの道に行くのかなど、その経緯や課題もしくは情報公開できない理由などに関する情報も国民と共有することが望まれます。そのことが国民との合意や納得、さらには信頼につながり実行力のある、有事に強い施策となるものと考えます。
- ・ 審議会のあり方、土台を作るデータや数値等が、国民からみて公平・平等なものであるか、実態に即したものか等、情報の透明性を高め、より多くの国民への信頼につながるものになってほしいと考えます。
- ・ 安全は、安全規制機関ばかりでなく推進機関にあっても、より踏み込んだ姿勢が示されること、現場の状況を熟知されることを望みます。そして基本方針が実務者へと読み込まれ、国民や住民にも響く見直しになってほしいと願っています。

以 上